


化学から見る 新型コロナウイルス

とその対策



新型コロナウイルスに化学ができることは何か？

世界が新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症(COVID-19)の拡大により従来通りの活動を制限されるようになってから1年以上が経過しました。事態は刻一刻と変化していますが、この講演会が開催される2021年夏頃の状況も依然として予測困難です。そのような中、人類はこの事態に対して様々な対策を講じられるようになってきています。この講演会では、新型コロナウイルス感染症を化学の視点からとらえ、現象の理解や対策について皆さまと共に学びたいと思います。

13:00-13:05

開会挨拶・趣旨説明

奥田 知明

慶應義塾大学工学部 教授

(環境・安全推進委員会 環境小委員会 委員長)

13:05-14:05

新型コロナウイルスとマスク科学

大西 一成

聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科 准教授

14:05-15:05

化学を知って新型コロナウイルスに立ち向かう
—石けんとアルコールはなぜ有効なのか—

小波 秀雄

京都女子大学 名誉教授

15:05-15:20

休憩

15:20-16:20

新型コロナウイルス感染症における生体・免疫応答と
環境汚染の影響

高野 裕久

京都大学地球環境学堂 教授

16:20-16:55

パネルディスカッション

『新型コロナウイルスに化学ができること』

16:55-17:00

閉会挨拶

宮崎 あかね

日本女子大学理学部 教授

(環境・安全推進委員会 環境小委員会 副委員長)

2021年

8/17 (火) 13:00~
17:00

オンライン開催

(Zoomウェビナー)


 中高生
 中高教員
 も歓迎！

主催

日本化学会
環境・安全推進委員会

対象

初中等教育現場で環境教育を担う教員
環境問題に取り組む企業技術者・研究者
環境問題の最新情報を求める一般社会人

参加費

無料

(希望者には資料を有料配布: 1,000円)

参加
申込<https://eesympo14.peatix.com/>
 お問い合わせ：日本化学会 企画部 足立・河瀬
 E-mail: env_safe@chemistry.or.jp